



平成22年9月期 第2四半期決算短信

平成22年5月13日

上場取引所 東 福

上場会社名 東福製粉株式会社
 コード番号 2006 URL <http://www.tofuku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野上 英一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 玉置 隆
 四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日
 配当支払開始予定日 —

TEL 092-781-1661

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第2四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第2四半期	1,808	△19.5	56	5.5	63	371.9	49	—
21年9月期第2四半期	2,245	—	53	—	13	—	△6	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第2四半期	4.93	—
21年9月期第2四半期	△0.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第2四半期	3,757	1,728	46.0	173.52
21年9月期	3,964	1,675	42.3	168.12

(参考) 自己資本 22年9月期第2四半期 1,728百万円 21年9月期 1,675百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	—	—	0.00	0.00
22年9月期	—	—	—	—	—
22年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	△5.9	85	142.9	95	—	70	—	7.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年9月期第2四半期 | 10,000,000株 | 21年9月期 | 10,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年9月期第2四半期 | 37,781株 | 21年9月期 | 36,633株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年9月期第2四半期 | 9,962,644株 | 21年9月期第2四半期 | 9,964,714株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記業績につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年10月1日～平成22年3月31日）における我が国の経済は、少子高齢化の恒久的課題を抱える中、デフレ傾向に転換しており、雇用情勢の悪化は依然として改善せず景気の先行き不透明感は続いております。

新政権による事業仕分けなど財政の無駄を明確にし、除く作業が行なわれておりますが、景気回復に効果を発揮するまでには、まだ時を要するものと思われまます。

製粉事業におきましては、昨年4月に引き続き10月にも政府売渡小麦価格が約23%引き下げられ、値下がり傾向にありました。

このような中、当社グループは新規顧客の開拓などの営業の強化を始めとし、内部管理体制の充実、コスト削減等に加え、製品の安全・安心及び生産の効率化を主体とする二期目の設備投資計画を進めて参りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高18億8百万円（前年同期比19.5%減）、営業利益5千6百万円（前年同期比5.5%増）、経常利益6千3百万円（前年同期比371.9%増）、第2四半期純利益4千9百万円（前期は第2四半期純損失6百万円）となりました。事業部門別の状況は次の通りであります。

<製粉事業>

製粉事業におきましては、主力の小麦粉は徹底したコスト管理に基づく販売やお客様のニーズに合致した提案型営業に努めたほか新規開拓にも力を注いで参りましたが、政府売渡小麦価格の引下げに伴う小麦粉価格の引下げもあり、売上高は12億1千1百万円（前年同期比21.6%減）となりました。副製品のふすまは、飼料用穀物価格の下落と国内需要の低迷により9千9百万円（前年同期比18.2%減）となりました。その他の部門におきましては、ミックス粉も主力の小麦粉と同様の経営環境にあり8千7百万円（前年同期比20.9%減）となりました。また、麺類・穀類その他商品につきましては、景気低迷が影響し贈答用乾麺の販売が振るわず3億7千4百万円（前年同期比12.1%減）となりました。不動産収入は、預かり物件の減少と賃貸料の一部引き下げにより1千6百万円（前年同期比13.6%減）となりました。以上の結果、製粉事業の売上高は17億8千9百万円（前年同期比33.0%減）、営業利益1億7千3百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

<不動産賃貸事業>

子会社で展開している不動産賃貸事業におきましては、家賃の引き下げを行ないましたので、不動産賃貸事業の売上高は1千9百万円（前年同期比16.7%減）、営業利益7百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

損益面につきましては、持分法適用会社も好調に推移しており、持分法による投資利益1千7百万円（前年同期は持分法による投資損失2千4百万円）を計上したほか、特別利益で投資有価証券売却益や貸倒引当金戻入額など1千1百万円を計上しましたので、当第2四半期純利益は、4千9百万円（前年同期は純損失6百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末（平成21年9月30日）に比べ2億7百万円減少し、37億5千7百万円となりました。その主なものは、たな卸資産が減少したことによるものです。

また、負債につきましては、前年連結会計年度末に比べ2億6千万円減少し、20億2千8百万円となりました。その主なものは、長期借入金の減少によるものです。

純資産につきましては、利益剰余金が4千9百万円増加しましたので、前連結会計年度末に比べ5千3百万円増加し、17億2千8百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べ9千万円増加し、4億9千9百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、3億7百万円の収入となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益や売上債権の回収が進んだことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、6千万円の支出となりました。この主な要因は、有形固定資産取得のための支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億5千5百万円の支出となりました。この主な要因は、長期借入金の返済のための支出によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の連結業績は、依然として厳しい経営環境下であり、販売努力にも係らず売上高は計画を下回りました。しかし損益面については、製造効率の向上やコスト削減並びに持分法による投資利益の計上により当第2四半期純利益は4千9百万円となり、業績予想を大きく上方修正致しました。また、通期に関しましては依然として雇用情勢の悪化による個人消費の落ち込みは回復の兆しが見えず、不透明な状況が続いておりますので、平成22年9月期通期業績予想につきましては、平成21年9月19日に開示いたしました「平成21年9月期決算短信」のとおり、業績予想を変更していません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	499,005	418,014
受取手形及び売掛金	474,531	517,349
有価証券	—	20,000
商品及び製品	275,491	330,255
原材料及び貯蔵品	159,637	250,880
その他	21,590	38,115
貸倒引当金	△17,269	△20,583
流動資産合計	1,412,988	1,554,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	821,085	848,799
機械装置及び運搬具(純額)	610,315	644,729
その他(純額)	134,306	135,165
有形固定資産合計	1,565,707	1,628,694
無形固定資産	1,944	2,916
投資その他の資産		
投資有価証券	538,759	515,424
その他	360,850	385,640
貸倒引当金	△122,728	△122,114
投資その他の資産合計	776,882	778,950
固定資産合計	2,344,533	2,410,561
資産合計	3,757,522	3,964,592
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,003	90,042
短期借入金	1,054,000	1,058,000
1年内返済予定の長期借入金	191,062	228,512
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	4,182	1,491
賞与引当金	15,610	20,155
その他	82,127	185,691
流動負債合計	1,464,986	1,623,892
固定負債		
社債	100,000	120,000
長期借入金	369,832	463,988
退職給付引当金	1,799	3,578
その他	92,168	78,064
固定負債合計	563,800	665,630
負債合計	2,028,786	2,289,523

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	67,876	67,876
利益剰余金	1,155,997	1,106,844
自己株式	△3,289	△3,208
株主資本合計	1,720,584	1,671,512
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,151	3,556
評価・換算差額等合計	8,151	3,556
純資産合計	1,728,735	1,675,069
負債純資産合計	3,757,522	3,964,592

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
売上高	2,245,612	1,808,460
売上原価	1,878,274	1,464,610
売上総利益	367,338	343,850
販売費及び一般管理費	313,399	286,964
営業利益	53,938	56,885
営業外収益		
受取利息	703	522
受取配当金	1,457	1,451
持分法による投資利益	—	17,201
その他	3,671	7,712
営業外収益合計	5,832	26,887
営業外費用		
支払利息	19,903	18,898
持分法による投資損失	24,394	—
その他	2,004	1,240
営業外費用合計	46,302	20,138
経常利益	13,468	63,635
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7,886
固定資産売却益	350	—
貸倒引当金戻入額	—	2,653
特別利益合計	350	10,539
特別損失		
たな卸資産評価損	1,886	—
貸倒引当金繰入額	12,510	—
固定資産除却損	—	2,750
特別損失合計	14,397	2,750
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△578	71,424
法人税、住民税及び事業税	593	2,571
法人税等調整額	5,511	19,699
法人税等合計	6,105	22,270
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,683	49,153

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△578	71,424
減価償却費	54,662	60,257
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23,869	△2,700
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,109	△4,545
前払年金資産の増減額(△は増加)	11,584	18,733
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△7,886
受取利息及び受取配当金	△2,161	△1,973
支払利息	19,903	18,898
持分法による投資損益(△は益)	24,394	△17,201
固定資産売却損益(△は益)	△350	—
固定資産除却損	—	2,750
売上債権の増減額(△は増加)	△29,722	48,171
たな卸資産の増減額(△は増加)	135,440	146,005
仕入債務の増減額(△は減少)	△30,453	△12,038
その他	41,045	5,138
小計	243,525	325,033
利息及び配当金の受取額	2,150	1,961
利息の支払額	△22,342	△18,479
法人税等の支払額	△970	△1,070
営業活動によるキャッシュ・フロー	222,363	307,444
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,250	—
定期預金の払戻による収入	700	10,000
有形固定資産の取得による支出	△12,966	△100,274
有形固定資産の売却による収入	450	—
投資有価証券の取得による支出	△920	△931
投資有価証券の売却による収入	—	10,391
有価証券の償還による収入	—	20,000
その他	2,133	48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,853	△60,766
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△84,250	△4,000
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△124,056	△131,606
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
自己株式の取得による支出	△96	△81
自己株式の処分による収入	46	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	71,643	△155,687
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	273,153	90,991
現金及び現金同等物の期首残高	239,416	408,014
現金及び現金同等物の四半期末残高	512,569	499,005

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)

	製粉事業 (千円)	不動産 賃貸事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	2,222,755	22,857	2,245,612	—	2,245,612
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,222,755	22,857	2,245,612	—	2,245,612
営業利益又は営業損失(△)	175,452	10,971	186,424	△132,485	53,938

当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)

	製粉事業 (千円)	不動産 賃貸事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	1,789,413	19,047	1,808,460	—	1,808,460
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,789,413	19,047	1,808,460	—	1,808,460
営業利益又は営業損失(△)	173,198	7,808	181,007	△124,121	56,885

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品及び内容

- (1) 製粉事業 …………… 小麦粉、ふすま、ミックス粉、麺類等
 (2) 不動産賃貸事業 …… 娯楽遊戯施設の賃貸

[所在地別セグメント情報]

本国以外の国又は地域に所在する支店及び連結子会社が無いため記載しておりません。

[海外売上高]

海外売上高が無いため記載しておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。